

備等事業推進検討委員会が設置されたが、これまでの活動内容と今後の予定はどうか。

A 保健福祉部長 さん
む医療センター施設整備等事業推進検討委員会の活動内容は、今年度2回開催をしました。1回目の委員会では、検討委員会設置に係る経過説明をした後、検討工程の確認また役割分担、ファシリティマネジメント、市の財政運営、建て替え位置等の検討、病院整備基本構想・基本計画作成、検討委員会スケジュール、以上の項目につきまして、事務局から説明をしました。

また、2回目の委員会では、地域医療対策連絡協議会の設置及び既存病棟のあり方、また建て替えが必要になった場合における用地の取得方法や農地の場合の農地転用手続き、また市の財政状況について説明しました。現在は、病院を存続させるために課題の整理をし

ています。

また、今後の予定は、国が定めた総合確保方針が今月示される予定で、その方針を用いて、平成27年度中に千葉県が地域医療構想を作成します。この構想が示されるまでは、直ちに動きづらい面もありますが、この検討委員会の中の3つの部会、ファシリティマネジメント調査部会、山武市財政運営調査部会、病院整備基本構想・基本計画作成部会、ごとに、できるものは順次進めていこうと考えています。

Q 多くの市民は、さ

らむ医療センターの一層の充実を願っており、病院への関心は大変大きい。それだけに病院の移転・建て替えについては、徹底した情報公開と市民合意の形成が不可欠だが、市の今後の対応はどうか。

A 保健福祉部長 検討

委員会では、今後設置を予定している地域医療対策連絡協議会や基本

構想、基本計画を策定していく上で、市民合意を

形成するための市民への情報提供がよりよい結果をもたらすと思えますので、情報公開につきましては、今後しっかりと対応したいと考えています。**Q** 情報公開を徹底すべきだが、例えば、検討委員会の内容をいち早くホームページなどで公開する。計画策定段階の節目ごとに独自の広報紙を発行する。さらに地域ごとに住民説明を実施する。特に、今の病院の地権者が多い地元の地区等々に関しては、歴史的に病院との関係が深いので特に丁寧に話し合いを行う。こうしたことを具体的にやっていくべきではないか。

A 市長 市民合意を

するために、市民と一緒に病院問題を考えたい。しっかりと受け止めたいと思えます。

Q 医師確保に関して、

医師派遣はどうなっているのか。

A 市長 現在のところ、4月から1人派遣していただけることになっています。後期研修をさせている医師たちが、家庭医・病院総合診療医研修プログラムという形で、さんむ医療センターで研修を兼ねて医療に当たります。私からは、指導医も1人お願いしておりますが、もう少し時間が必ずやだということ、引き続きお願いしていきたいと思っております。



個人質問



今関 恒 議員

危機管理について

Q 危機管理に対する市長の考えはどうか。

A 市長 市民の皆様にお願いをして社会全体で危機管理をしていかなければいけないと思います。行政としてはまず迅速な対応をすべきだと思います。事が起こって慌てないように、普段からしっかりと心がけていきます。

防火管理について

Q ストープの灰の処理が原因で、成東東中学校の教室から出火したが、これまでの防火体

制はどうなっていたのか。

A 教育部長 防火対策として管理マニュアルを作成し職員に周知しています。火災等を想定した避難訓練も毎年実施しています。今回の発火要因は、マニュアルに沿って処理をしましたが十分な安全確認まで至らなかったものです。**Q** マニュアルに沿って出火したならば危機管理が甘かった。他の市内の小中学校の防火管理はどうか。

A 教育部長 避難訓練を全ての学校で実施し火災のマニュアル作りを行い、防災教育として不審者・地震・津波等への対策について、訓練及び指導を行っています。

不法侵入について

Q 緑海小学校の津波避難用の外階段の扉が壊されて屋上まで不法